

ご使用前にこの説明書をよくお読みください。また、この説明書は大切に保管してください。※修理・お手入れ・取扱い・工事などのご相談はまずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。

## ■お手入れ方法

### 日常のお手入れについて

- 日常のお手入れは乾いた布で拭きしてください。砂粒など硬いごみが付着したまま拭くと床材の表面を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。
- 汚れがひどいときは固く絞ったぬれぞうきんで拭き取ってください。汚れに応じて中性洗剤などを使用し、洗剤をきれいに拭き取ってください。
- ※目地部分を強くこすると、色落ちする場合がありますのでご注意ください。
- 掃除機がけする際は、掃除機のヘッドやブラシに硬いごみなどが付着したまま使用すると床材の表面を傷つけるおそれがあります。ご注意ください。
- シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の場合は、ドライタイプをおすすめします。ウェットタイプは薬剤の種類によって表面の変色など不具合の原因になるおそれがあります。
- ※木質床材は本質的に水気を嫌います。スチームを使ったお手入れや水濡れ、ワックスの塗布量が多いと、フクレやハガレ、変色などの原因になります。

### ワックスがけについて

- この床材は表面に汚れが付着しにくいよう、特殊処理を施していますのでワックスがけは不要です。
- お客様のご都合でワックスがけをされる場合は、リンレイ社「ハイテックフローリングコート」をお使いください。他のワックスを使用すると、不具合の原因になります。
- ワックスがけをされますと、表面がワックスの性能になり、本来の性能を損なう場合があります。
- ご使用の際は直接床にまかず、布などにしみ込ませて薄くムラなく塗布してください。
- 気温が低いときにワックスを塗布したり、ワックス塗布面にお湯などをこぼすと、ワックスが白化する場合があります。白化した場合はワックスを除去してください。
- ワックスはく離剤および溶剤（特にシンナーなどのトルエン・アセトン類を含むもの）は使用しないでください。床材を傷める原因となります。
- ワックスの使用方法を誤ると、床材に異常を起こす場合がありますので、その他の使用方法については容器記載の使用法をよくお読みください。

## ■床鳴りについて

- 音の程度にもよりますが、床材の継ぎ目部分がすれて音が発生していることが考えられます。これは、木の性質としての調湿機能が働き、伸び縮みを生じることによって発生するもので、やむを得ない現象です。商品の性能、使用上特に問題はありません。なお、床面での音の発生は、この他ワックスや表面コート剤の塗布、下地条件など別の要因による場合も考えられます。

## ■ホルムアルデヒドへの配慮をお願いします。

- 当社では商品から放散される化学物質の削減に努めていますが、日常的に通気や換気をこまめに行ってください。特に、新築住宅やリフォーム直後には十分な換気をお願いします。また、ホルムアルデヒドは高温になると多く放散される性質があります。夏場や長時間密閉した後は、特に気をつけてください。

日本複合・防音床材工業会ホームページ  
床材の一般的なお手入れ・使用上のご注意などを紹介

<http://www.jafma.gr.jp/>

- 当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

## 1 熱や乾燥によるひび割れや目すきを起こしにくくするために。

### 1-1 直射日光

サッシまわりなど直射日光が長時間当たりますと、日焼けによる変色やひび割れが生じるおそれがあります。カーテンやブラインドで直射日光が当たらないようにしてください。

### 1-2 エアコンなど

エアコンや強制排気型の暖房装置などを連続使用の場合は、床材の水分変化で、継ぎ目にすき間や表面にひび割れを生じますので、加湿器などで湿度を調整してください。望ましい湿度は45~70%です。

### 1-3 ホットカーペットなど

ホットカーペットや温風ヒーターなどをご使用の際は、目すき、表面ひび割れ、変色、フクレなどの原因となりますので、カーペットなどの下敷きをするなど、床表面に熱が伝わらないようにご使用ください。（木質材料のため温度・湿度により、床材の継ぎ目にすき間が生じることがあります。これは木材本来の性質によるものです。）

※滑り止め機能付や滑り止め加工を施した製品（シート、カーペット、マット、ゴム等）をご使用になる時は、裏面材の成分が溶出して床材表面に付着したり、変色やつや変化を生じさせるおそれがあります。

### 1-4 大型冷蔵庫など

大型冷蔵庫や温風ヒーターの熱風が床表面に直接当たらないようにしてください。

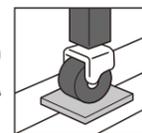
### 1-5 床暖房

床暖房ご使用の場合は、床暖房の取扱い説明書の使用上の注意事項をお守りください。使い方を誤ると低温やけどや床に釘を打つと思わぬ事故や故障の原因になることがあります。床暖房運転時にカーペットなどで表面を覆うと、放熱が妨げられ暖房効率が悪くなったり、熱がこもって床材をいためやすくなりますので、何も敷かないでください。

## 2 傷・へこみ・破損などを防ぐために。

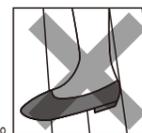
### 2-1 ピアノなど

ピアノなどの重量物を置く場合は根太や下地の補強をした上で、脚部にインシュレーターや小さな板などを敷き重量を分散させてください。また、移動させる時は、引きずらないでください。



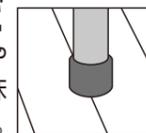
### 2-2 土足

上履用ですので土足での使用はお避けください。



### 2-3 イスの足など

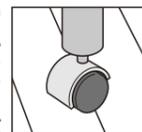
イスの足にゴムキャップやフェルトなどをつけると床表面の傷つきを防げます。



※ゴム製の保護材は種類によって表面に色移りする場合があります。浸透して色移りするのを除去できませんので、ご注意ください。

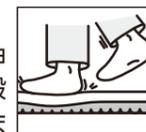
### 2-4 キャスター

キャスター付きのいすなどを繰り返しご使用になりますと、床表面を傷つけます。ご使用を避けるか、カーペット等を敷いてご使用ください。



### 2-5 歩行感について

直張り防音床は、防音性能を高めるために、裏側に特殊クッション材を使用しています。そのため、防音性能に関係のない一般の床材と比べると歩いたときに柔らかく沈むような感じがします。これは防音性能を得るための構造上ある程度やむを得ない現象です。逆に転倒時には衝撃を和らげることができます。



## 3 シミ・フクレ・変色などを防ぐために。

### 3-1 水やしょう油、洗剤など

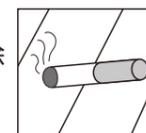
水やしょう油、洗剤などをこぼした場合は、すみやかに拭き取ってください。放置すると表面の色あせまたはシミ・カビによる黒ずみ・腐れ、フクレなどの原因になります。

※目地部分を強くこすると、色落ちする場合がありますので、ご注意ください。



### 3-2 タバコ

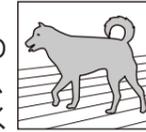
火のついたタバコを落とした場合は、すぐに取り除いてください。こげ跡がのこります。



### 3-3 ペット

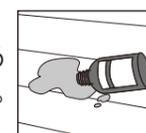
室内でペットを飼われる場合は、ペットのツメなどで床材の表面を傷つけるおそれがあります。ご注意ください。また、ペットの排泄物を放置しますと変色の原因となります。固く絞ったぬれぞうきんで、すぐに拭き取ってください。

※目地部分を強くこすると、色落ちする場合がありますので、ご注意ください。



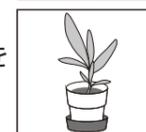
### 3-4 毛染め剤、靴墨など

毛染め剤、パーマ液、靴墨などの汚れはとれません。使用する場合には、必ず床の上にビニールなどのカバーをしてください。



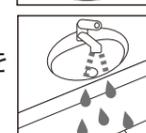
### 3-5 観葉植物

観葉植物などの鉢には、必ず水受け用の皿などを敷いてご使用ください。



### 3-6 台所・洗面所周辺

台所や洗面所周辺など、水廻りの場所ではマットを敷いて保護してください。



### 3-7 窓や掃き出しサッシ

窓や掃き出しサッシからの雨の吹き込みに注意してください。表面が濡れた場合は、すぐに拭き取ってください。



### 3-8 結露

結露による水滴などに注意してください。長期にわたり結露の水分が床に吸収されると、シミや波打ちが起こる場合があります。

